

松阪の尾鍋組 知財功労賞

市長に報告 地盤改良工法 全国に普及



竹上市長に受賞を報告する尾鍋社長(右)

住宅の地盤改良工法を独自に開発、全国に普及を図る松阪市飯高町の土建会社尾鍋組が、2021年度の「知財功労賞」(特許庁長官賞)を受賞した。尾鍋哲也社長(59)が20日、竹上真人松阪市長に受賞を報告した。

地中に円柱状に碎石を埋め込み地盤を強化する工法で、従来工法で用いられるセメントや鋼管に比べて二酸化炭素(CO₂)排出量が100分の1と少なく、環境に優しいのが特

徴。碎石以外の固形物が地中に残らないため土地の再利用が容易で、資産価値が下がりにくいという利点もある。

同社は社員14人の中小企業。尾鍋社長が三重大学などの協力を得て、2003年から4年がかりで開発した。施工方法、施工データのクラウド管理などについて6件の特許を取得したうえ、「エコジオ工法」と名付けて代理店を通じて全国展開を図り、これまでに全国3000を超すハウスメ

ーカーが採用、施工実績はすでに2万件を超えた。

知的財産権を活用した経営手法が評価された受賞に、尾鍋社長は「身に余る賞。これからも持続可能な社会に貢献できる技術として広めていきたい」と喜びを語った。

4月22日(木)
2021年(令和3年)

発行所：名古屋市中村区名駅4-7-1
〒450-8551 電話(052)527-9000
毎日新聞中部本社
名古屋市中村区平池町4-60-12
〒453-6109 電話(052)554-1300
中部本社ささしまオフィス

「知財功労賞」特許庁長官賞
「持続可能な社会に貢献」
松阪の土建業者が喜び報告

環境に優しい住宅の地盤改良技術「エコジョ工法」に取り組む松阪市飯高町宮前の土建業「尾鍋組」が、知的財産制度の普及や優れた活用をたたえる今年度の「知財功労賞」で特許庁長官賞を受賞



表彰状を手に、特許庁長官賞の受賞を竹上真人市長(左)に報告した尾鍋哲也社長—松阪市役所で

し、尾鍋哲也社長(59)が、松阪市役所を訪れ、竹上真人市長に報告した。同工法は、セメントや鋼管のくいを問わず砕石だけで地盤を固めるため環境負荷が低い。三重大や地盤改良

装置の製造会社などの協力を得ながら6件の特許も取得して技術開発した。同社は、社員14人の小規模事業所ながら、これまでに取得した特許や商標を活用したフランチャイズ方式で、

全国54カ所に施工代理店を持ち、事業を展開。住宅会社3000社以上が採用し、2万件以上の施工実績があることが評価された。報告で、尾鍋社長は「自社だけではできない技術開発だったが、三重大や県、市などの支援で進めることができた。最近住宅だけでなくコンビニの地盤改良にも採用されるようになってきた。今後、も持続可能な社会づく

民間車検
(有)中山自動車
佐八工場/伊勢市佐八町1720
TEL.0596-39-0088(代)

りに貢献できるようにしたい」と語った。竹上市長は「大企業に並んでの受賞で、地

域の企業が知財分野で活躍するのはすごいことだ。大化けする可能性がある」と期待した。
【田中功一】